

人権に関する作文 (若槻小学校) 発表



コミわかでは人権教育・啓発活動の一環として、小中学校の児童・生徒さんに人権に関するポスターや作文を寄稿していただいています。今回は若槻小学校児童の作文です。この機会にぜひご家族で人権について考えてみませんか？
(人権教育部会)

「なかよし」って何だろう？

6年 夏目 義之

ぼくは、児童会で「なかよし委員会」に所属しています。でも、他の人と仲良くするためにどのようなことをしたらよいかわかりません。

ぼくは、人に話しかけることが苦手でなかなか自分から話しかけることはできません。もちろん嫌われたくないとは思いますが、無理になかよくなりたとも思っていないです。だから、「なかよくなる」ためにどのようなことをしてよいかわからないのです。

昨年のなかよし月間で、先生が、「クラスの仲間の良いところを探そう」というお話をしていました。僕も一人ずつ、真剣な気持ちで良いところを探しました。いつもは気づかなかった仲間の姿を知ることができました。

この活動で「なかよしになる」とは思いませんが、でも「なかよしになる」第一歩を踏み出したような気がしました。

「他の学年の友達とも仲良く」

6年 鈴木 優希菜

私は、なかよし委員会の委員長をしています。自分の学年やクラスだけではなく、他の学年の友達とも仲良くできるようにしたいです。そのために、なかよし集会という活動を行っています。一年生から六年生で作られているなかよしグループで交流をします。例えば、マジカルバナナやジャンケンなど簡単で楽しい遊びを考えてやります。初めはあまりしゃべることができなかった友達ともだんだんと自分から話すことができるようになってきました。ろう下ですれちがうとあいさつもします。クラスの友達が他の学年の友達と仲良く話しているところを見ることも多くなりました。仲よしが増えるとうれしいです。

11月には槻っ子大集会があります。委員会毎に出し物を考え、それをなかよしグループで回ります。魚つりやイントロクイズなど友達と協力する楽しいゲームがあります。なかよくなった友達とまわるのが今から楽しみです。これからもたくさんの友達と仲良く遊んだり話したりしていきたいです。

「2024第2回スポーツフェスティバル」200人が楽しく交流

「2024第2回若槻スポーツフェスティバル」は10月13日(日)、各地区から一般住民、運営スタッフ合わせて200人弱が参加し若槻小学校体育館とグラウンドで開催しました。

春季スポーツ大会、秋の大運動会に代わるレクリエーションとして昨年からスタートしたスポーツフェスティバルは、「住民がふれあえるまちづくりへ楽しい交流を」をテーマとしており、参加者の皆様が各競技を楽しみながら幅広く交流できるイベントとなりました。

当日は風もなく晴天に恵まれ、グラウンドでは「ポッチャ」・「グラウンドゴルフ」が歓声とともに熱戦を展開、「ドッチビー」・「ソフトバレー」の室内競技も熱戦を展開していました。特別ゲストの「着ぐるみ恐竜ティラノサウルス」も盛り上げに一役貢献、子どもから年配者まで日ごろ地区や世代を超えた交流が少ない私たちに貴重な体験になったと思います。

運営もまだまだ手探りで至らぬ点が多々ありましたが、種目等反省点を踏まえ今後へつなげたいと思います。皆様のご協力ありがとうございました。
(公民館部会)



ポッチャ



ソフトバレー



ドッチビー

広告